



TOHOKU
UNIVERSITY

平成23年6月28日
科学技術シンポジウム

これからの 科学技術イノベーション政策

日本の復興及び更なる発展に向けて

東北大学 副学長・総長室長
北村 幸久

青葉山キャンパス サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター破損状況

- 多彩な量子ビームにより、基礎科学からライフサイエンスに至る研究を推進する学内共同利用加速器施設。
- 地震により、センターの心臓部である加速器本体の支柱が崩壊し、各種構成部品、ビーム輸送装置等が破損。
- 総重量200トンの加速器の支持構造補修、加速器内部の精密部品の修理・調整等が共同利用再開に必要。

加速器構成部品支持部破損



加速器本体を支持する支柱が崩壊

ビーム供給用真空ダクト破損



被災箇所所在地

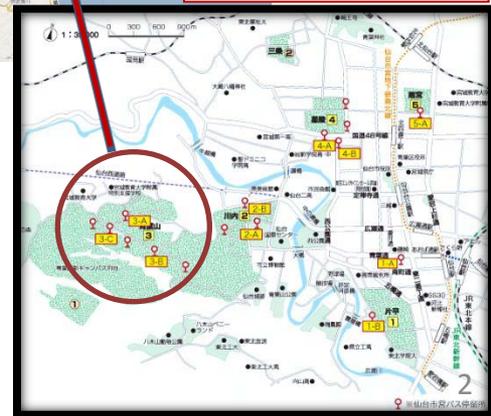
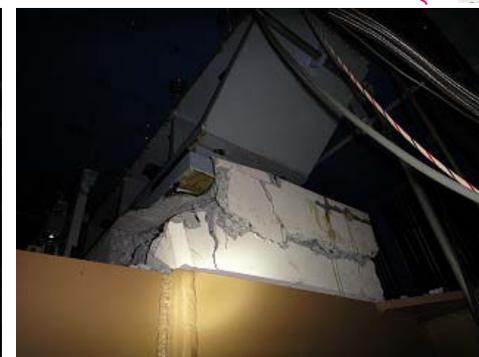
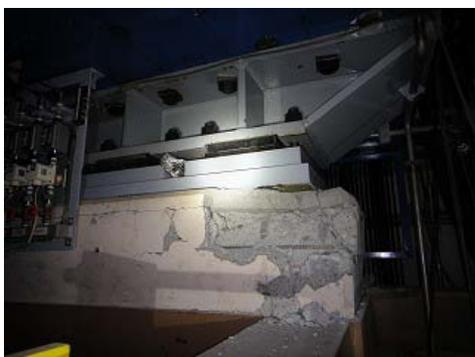


写真1 (3-B)

青葉山キャンパス 大学院工学研究科

人間・環境系実験研究棟



写真1 (3-C)

青葉山キャンパス 大学院工学研究科

電子情報システム・応物系建物



東北大学災害復興新生研究機構の創設

東日本大震災の被災地域における中核大学として、被災からの復興・地域再生を先導する研究・教育・社会貢献等に戦略的かつ組織的に取り組み、その成果を発信・実践する。

